

CASBEE[®] - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鴻池運輸株式会社 京都城陽配送	階数	地上2F
建設地	京都府城陽市富野池ノ内1番2、102	構造	S造
用途地域	指定なし、法22条区域	平均居住人員	61人
気候区分		年間使用時間	2,920時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 0.0	評価の実施日	2015年1月26日
敷地面積	49,751 m ²	作成者	東野 佳祐
建築面積	3,662 m ²	確認日	
延床面積	6,326 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地内における配送センター増築計画。既存配送センターと計画建物との配置関係を、車輛の通行動線や荷捌きエリアや待機スペースから導き出した。これにより動線が短くなり、スムーズな運用を行うこととなり、周辺環境へ無駄な負荷がかからないように配慮した。		その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 評価対象外。	Q2 サービス性能 階高が高く、空間がシンプルな形状であるため、内部での荷物配置計画が変更になった場合でもフレキシブルに対応できる。	Q3 室外環境 (敷地内) 既存建物との外観を統一し、一体感がある建物群として計画した。
LR1 エネルギー 高効率照明等の採用。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨躯体と内外装材との再利用可能性向上。	LR3 敷地外環境 従業員用駐車場および40ftトレーラや大型車輛の待機スペースを敷地内で十分確保している。また出入口に配置されている誘導員により、スムーズで安全な交通整備が行われており、敷地外への影響を抑えている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される